



# HOT NETWORK No.15 おおはし

2011年(平成23年) 新年号  
 大牟田市議会議員  
**大橋克己後援会**  
 <連絡先>  
 〒836-0047 大牟田市大正町 4 丁目1-14  
 TEL・FAX 0944-57-1284  
<http://www.ohashikatsumi.com/>



新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、常日頃から私の市議会議員としての活動にご理解とご支援をいただき、心から感謝申し上げます。我々の悲願であった政権交代が実現しましたが、私たちが思い描く政策転換の実現にはまだ程遠い状況です。我々の思いを届けるためには、国政での政権安定はもとより、地方議会でのその思いを共有することができる形を造ることが必要です。今春の統一自治体選挙は千載一遇のチャンスです。

一昨年2月2日、石橋保則福岡県議会議員がお亡くなりになりました。輝く県南と大牟田市の振興に尽力された石橋県議の遺志をしっかりと受け継いでいくことこそ、故人に対する最大の恩返しとなり、ひいては私たちの思い描くような政策の実現につながることを確信しています。

亡き父 武彦の遺志を受け継ぎ、2期8年の大牟田市議会議員活動。そして私の政治の父であった石橋県議の遺志を受け継がんとする福岡県議会議員選挙の出馬決意。天命に導かれし運命(さだめ)を感じざるをえません。その天命をしっかりと心に刻み、新たなステージに挑みます。これまで以上のご支援を賜りますようお願いいたします。

皆様の益々のご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。

## 新年の御挨拶 大橋 克己

大牟田市議会議員 大橋 克己

3面からのつぎ

見解は。

【教育長】小学校においては、学校給食衛生管理基準に準じ、徹底した管理を実施。中学校弁当保管には、直射日光を避ける、風通しの徹底による食中毒防止を指導。中学校完全給食は、食育の観点から検討会議で調査しており、早期に実施に向けて方向性を示せるよう最大限努力したい。

【大橋】熱中症、食中毒の犠牲者が出てからでは遅い、早急の対応を。中学校完全給食の早期実現を願う。

【大橋】地方分権が推進していく中で、今後、大牟田市独自のまちづくりに向け、住民自治の根底をなす議会の担う役割は、一層その重要性が増してくる。議会機能のさらなる充実・強化や議員の資質向上を図り、本市のまちづくりに邁進することを市民に向け宣言する「議会基本条例」が今議会で提案される予定。二元代表制の一方である議会と行政機関が適度な緊張関係のもと、未来の大牟田が大きく羽ばけるような議論が繰り広げられることを、心から願う。

## 決意表明

福岡県議会議員予定候補 (大牟田市区) 大橋 克己

「大牟田が厳しかけん、しょんなかもん」  
 福岡県内の地域間格差は拡大し、愛するわが町には、そんな諦めにも似た言葉が蔓延しつつあります。しかし、大牟田にはこれまでの歴史で培われた地域資源があります。地域の潜在能力を引き出す政治の力、行動力が今こそ必要です。  
 大牟田市議2期8年で培った、地域に直接出向き課題、問題点を浮き彫りにする嗅覚を大事にしながら、43歳の若さを武器に地域の発展の先頭に立つことをお誓いいたします。  
 また、地方分権の流れの中、県の果たす役割が注目されます。都市部に偏在するヒト、モノ、カネに対して、どう目配りをするのかという県の姿勢が問われるはず。ただ、県の役割が重要となってくるにも関わらず、市政や国政に比べ、県政への住民の関心が低いのが事実です。  
 その顕著な例が、今般明らかになった福岡県議会の政務調査費の不透明な支出ではないでしょうか。今まで県民の皆さんに対する情報発信が低かったため、県議会への関心が薄く、厳密にすべき使途基準があいまいになっていた面があるはず。積極的な県政の情報提供や公聴活動を通じて、住民が県を身近に感じていただく仕組みづくりを提言していきたいと思っております。  
 私は、みなさまと知恵を出し合い、将来を見据えた街の発展のため、「一歩踏み出す勇気」をもって、全力で取り組んでいきます。



福岡県議会議員選挙出馬記者会見

## 「大橋かつみ」ホームページ開設しました!



活動日誌や議会報告、告知板など随時更新しています。

ぜひ、覗いてみてください!

<http://www.ohashikatsumi.com/>

# 平成22年12月議会報告

大牟田市議会12月定例会が昨年12月8日から20日まで行なわれました。

議員提案の「大牟田市議会基本条例の制定」、「市議会議員報酬の特例条例の制定」(本年4月より3%カット)など全議案が原案どおり可決されました。

大牟田市議会基本条例については、定期的な議会報告会の実施や執行部が議員に逆質問できる反問権、幅広い施策や議案の論点を明確にする「政策等調整委員会」の設置など議会の役割を定めました。議会改革等別委員会の作業部メンバーとして深く関わってきただけに、感慨もひとしおです。私は、12月14日に代表質問に立ちました。

## おおはし克己 代表質問

### 1. 大牟田市の財政状況と今後のまちづくりについて

【大橋】大牟田市は平成13年度から9年連続の赤字決算だが、「財政健全化計画」などの取り組みにより収支が改善され、本年度末には累積赤字が解消できる見込み。しかし、改善の要因には、昨年臨時的に地方交付税が大幅に増加したことや、市民負担増や公共サービスの縮小によって捻出された側面も大きい。長引く景気低迷による所得減、雇用不安などに対する配慮を忘れてはならない。自主財

源が乏しく、税収の大幅増加が見込みづらい本市にとって、将来を見据えた財政規律の確立と今後のまちづくりのための投資という大変難しいバランス感覚が求められる。

#### (1) 財政規律の確立

【大橋】本市の標準財政規模に占める基金積立金の割合は2・59%となり、日本一基金積立金の少ないまちとして日経データバンクが発表した。財政調整基金の積み立てなど中長期的かつ抜本的な財政規律の確立は。

【市長】累積赤字の解消が一時的に出来たとしても、実施事業を取

捨選択し財政規律の確保の為に引き続き行政改革をすすめる。財政調整基金の計画的な積み立ての検討をすべき時期。

#### (2) 三池炭鉱関連の近代化産業遺産群

【大橋】三池炭鉱関連の近代化産業遺産は、ユネスコの世界遺産国内暫定一覧表に追加記載された。市民が世界遺産本登録に向けた取り組みを通じ、愛するわがまちに誇りと愛着を持ち、まちづくりの機運が高まることが期待される。但し、世界遺産本登録に向けた取り組みを観光や交流人口の増加に短絡的に結びつけ、それに伴う事業費が過大に膨れ上がることに十分慎重にならなければならぬ。一つ一つの事業が真の意味で大牟田市のまちづくりに資するものなのか厳密な精査が必要。また、その多額の支出が将来を見据えた財政規律の確立へ影響を与え、総合的なまちづくりの支障になっては元も子もない。財政規律の確立の観点も踏まえた、世界遺産本登録に向けた取り組みは。

【市長】本市の重要なプロジェクト。近代化遺産整備には多額の費用が必要。国庫補助や産地地域活性化基金、過疎債等を活用し計画

的に整備する。財政全体との整合を図る。

【大橋】市長は「観光は光りを観ること」と以前述べたが、光りだけ見るのか。458名の死者を出した三川鉱炭じん爆発やCO患者。吉野病院では現在も23名が入院中。過酷な囚人労働、中国人、朝鮮人の強制連行・強制労働など。日本の近代化の原動力となった事実を歴史、犠牲を含め後世に残していくべき。

観光面のアイデアとして、無機質な工場地帯の景観に美を見出し、楽しむ、夜の「工場萌え」がブーム。夜の動物園や文化会館のプラネタリウムとコース設定してみても。

### 2. 企業誘致と雇用政策について

【大橋】(株)エム・シー・エスは業績悪化により唐船の大牟田工場を来年4月までで操業停止することを発表した。同社が製造しているTABテープは世界のトップシェアを誇っていたが、時代の流れは速く、わずか3年あまりでシェアが低下し、操業停止となった。今回の事例を分析したうえで、これからの企業誘致の方向性についての見解は。

行事への影響が懸念される。

#### (1) 猛暑・残暑対策

【大橋】昨今の暑さは精神論で片付けるレベルではない。エアコン設置を含め学校現場での猛暑、残暑対策は。

【教育長】限られた学校関連予算の中で、優先順位をつけ対応。小中学校の普通教室354室すべてにエアコンを設置した場合、9億6千万円必要。扇風機の場合は7千5百万円必要で、市単独経費となる。県市町村教育委員会協議会にて、国、県に対し空調設備補助率の引き上げを要望中。

【大橋】教室内の気温を把握し、何らかの早急な対応を望む。運動会については、春実施が10月以降の実施を強く市教委として打ち出すべき。

#### (2) 小中学校給食対応

【大橋】厳しい残暑の中、給食食材の傷みに起因する食中毒が心配されるが、小学校給食における食中毒対策は。また、中学校における弁当保管時の食中毒対策の現状と中学校完全給食実現に向けての



議会質問

【市長】企業誘致は市民ニーズの高い最重要施策。経済情勢を注視し、的確に把握しながら企業誘致に取り組む。

【大橋】大牟田には、太陽光発電所、電池メーカー、電池製造装置メーカーがある。環境に優しい新エネルギーとして各国が推進している太陽光発電関連産業を集中して企業誘致してみても。地元中小企業の育成をもっと注力すべき。

【大橋】大牟田工場の従業員、特に非正社員20名、派遣社員10名、請負社員70名の今後が危惧される。市としてどのように対応するのか。

【部長】ハローワーク、MCSの再就職支援室と派遣労働者等緊急相談窓口にて対応を図る。

### 3. 大牟田市地域コミュニティ基本指針について

【大橋】本市の地域コミュニティの形成に向けて、市民みんなが将来を共有し、共通の目標に向かって進んでいくための「大牟田市地域コミュニティ基本指針」の最終案提言書が今月7日市長に提出された。今までの地域コミュニティの概念を大きく転換するもので、その再生のためには、地域住民が今回の指針を熟知、理解したうえで、地域自らが立ち上がることが肝要。

【大橋】校区まちづくり協議会の中心には町内公民館を期待している旨の説明があった。町内公民館加入率の低下の要因や解決策を明らかにしなければ、校区まちづくり協議会の加入促進は図れないが。

【市長】「隣近所で支えあふ」機能の低下、少子高齢化の影響で加入率が低下している。校区まちづくり協議会という新たな組織づくりが解決策。様々な負担感が解消されるよう、校区内の横断的な協力で参加しやすい組織にすることが必要。

### 4. 猛暑と小中学校現場について

【大橋】今年の夏の猛暑やスーパ一残暑が一過性のものであつて欲しいものだが、世界的な異常気象の傾向をみると、樂觀できない。特に、猛暑の中、暑さを和らげる設備もない大牟田市内の小中学校で、生徒の健康維持や授業、学校

に整備する。財政全体との整合を図る。